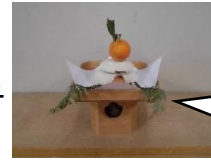


園だより

第5号（平成30年1月発行）
文責：一新幼稚園長 山岡 喜美子



幼稚園特製の鏡餅を飾り、新年を迎えました！

3学期、各学年にとってはまとめの時期です。年長組では、小学校教育へ円滑に接続していくために指導するとともに、幼稚園修了に向けての準備（修了アルバム製作・修了証書作成）を始めました。年中・年少組では、進級を意識し、生活習慣を見直しています。一年で一番寒い時期をすごしています。インフルエンザの予防及び伝染拡大防止に努め、寒さに負けず、元気に活動したいと思います。

プリント「冬休みの約束」をもとに、休み中のことを振り返りました。

3学期の始業式で子どもに伝えたこと



始業式の朝、子どもたちは笑顔で登園してきました。おうちの方からは、「冬休み1日目も、『幼稚園に行こう。』と言いました。」「ここ2、3日は、『(幼稚園は)まだ始まらないのかな。』と楽しみに待っていました。」との話を聞きました。園生活が、子どもたちの生活の一部になっていることを嬉しく思いました。

始業式では、二つのことについて約束しました。

一つめは、「3学期は、自分でできることを増やすこと」です。例えば、先生に言われなくても自分で身支度を整えるようになった、苦手な野菜が食べられるようになった、縄跳びを跳べるようになった等です。できるようになりたいことはそれぞれ違うので、できるようになりたいことを自分で決めて、頑張ってもらいたいと伝えました。



拭
掛
お

二つめは、1月の生活の約束「手洗いうがいを丁寧にしましょう」です。寒いあがりつい雑になりがちです。風邪や胃腸炎になって欠席すると、遊びや活動を楽しめず、一つ目の約束も果たせなくなりますね。（そうそう、洗った後きちんと手を拭かなかったためにあかざれになって痛がる姿も見られます。手洗いの後はきちんとくことも約束に入ればよかったかな…。）二つの約束については、各ご家庭でも声かけをしていただくことで、子どもたちは意識して行動すると思います。よろしくお願いします。

最後に、「一年中のうた」を歌いました。 ♪おめでとう1月 積もる雪2月～

紅白対抗「こども新年会」をしました

新しい年を迎えられたことを喜び、みんなで集まって楽しいことをしたり思いきり笑ったりして、幸せな一年を過ごすことを願って、3・4・5歳児の混合チームが紅白に分かれてゲームを楽しみました。ゲームは年齢に応じて、年少児は「福笑い」年中児は「オセロゲーム」年長児は「大型カルタとり」「福豆つまみゲーム（箸で豆をつまむ競争）」をしました。どの学年でも、事前にクラスで遊び、方法やルールを理解しておいてから新年会で勝負！となりました。ゲームは、子どもたちに数や言葉への関心・表現力・器用性・敏捷性を養うことができる内容を検討しました。ゲームを楽しむ中で、ルールを守りながら楽しむ姿や、応援したり勝った喜びや負けて残念な気持ちを共感し合ったりする姿がみられました。ゲームが全て終わり、紅白それぞれの得点をみんなで数えました。新年会で他のクラスのゲームの面白さが分かったと、その後クラスでも楽しんでいました。



楽しくまモンってこんな顔だと思ふよ。ハイ、出来上が



オセロゲーム、頑張って！赤カードと白カード、どっちが



箸で豆をつまむのが上手になったよ。真剣勝負！



最後はみんなの顔を見ながらのお弁当はおいしいな。

冬の自然の変化に関心をもってかかわりました

気温が低下し、夜から朝にかけての冷え込みが厳しくなってくると、子どもたちは思いがけない冬の気象の変化に大喜びです。次のようにかかわりました。(ほんの一部、紹介します。)

[雪が積もった朝は...]雪を集める・固める・転がす。雪だるまを作る。雪を水に落として溶かす

[雪が降り始めると...]保育室から飛び出して歓声をあげながら走り回る。空に向かって口を開けて待つ。手のひら

ら
に雪が降りてくる様子を見る。雪を両手でぱちんとつぶしてみる。「♪雪のこぼろず」を歌う。

[氷や霜柱を発見すると...]落として割ってみる。ガラスのように透かして見る。踏んでみる。

と ※ 年長児の中には、容器に水と花を入れて作った花氷の美しさや、花の形をした容器だと

く
うちに、場所によって氷ができる所とできない所があることが分かってきました。毎日

同
じ場所にできる氷は日増しに厚くなり、霜柱は高くなることに気づいていきました。

[園庭の地面が凍った日]年少児が玉杓子で削り始める。全体に広がっていき、自分で場所を選んで黙々と削る。

削った土のふわふわした感触をかき氷に見立てる。ぎゅっと握ると雪を握りしめたときと同じように固まることに気づく。

冬の自然気象によって起こる「不思議さ」や「驚き」は、子どもの好奇心や探求心をかきたててくれます。子どもの「なぜ？」と思う言葉に対して急いで答えを教えずに、「本当ね。なぜだろう。」と一緒につぶやき、気づきや発見の一つ一つを大切に受け止めて、科学の芽を温めていきたいものです。



「雪があった。沢山 集めよう。」



「水に入れたら、溶けるよ。」



「花と一緒に氷になったよ。」



ガリガリ シヤリシヤリ
(凍った地面を削っています)
「わあ、土が白くなってきた。」

3学期の保育参観(親子ふれあい活動)ありがとうございました

YMCAのご指導により、ストレッチやゲームを楽しみました。瞬発力や調整力、平衡感覚を養う遊びがたくさんありました。指導して下さった先生曰く、「最近の子どもは、両腕で体を支える力が不足しています。」とのこと。(今後、園でも支持力を高める遊びを取り入れていきたいなと思います!)

後日、保護者の方から、「新聞紙を使ったジャンケンゲームは、早速家でもやってみました。楽しかったです。」との報告を受けました。幼稚園で体験した活動が家庭での親子のふれあいのきっかけになってよかったです。



おっとっと。二人で気持ちを合わせ、バランスをとって頑張っています。

1月21日(日) 保育参観後、一新校区の新年会に出席しました。

会の中で、本園が今年100周年を迎えることをお知らせしたところ、地域の方が「私は、一新幼稚園だった。」とお声を掛けてくださいました。地域の皆様からいつも見守られていることに感謝し、職員一同精一杯頑張らなくてはと思いながら帰りました。